



横浜市立田奈小学校 学校だより

平成28年 2月 1日

2月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

校長 二瓶 光代
TEL 045-981-0009

働きかけ、生活を変えていく子

校長 二瓶 光代

3年生以上がおさめる「総合的な学習の時間」という領域があります。これは、各教科で学んだ力を生かしながら問題を解決し、自ら学ぶ態度や主体的に生きる力を育てる学習です。これからの変化の著しい時代を生き抜いていく子ども達にとって、また、本校教育目標「知」の育成にとって重要な学習といえるでしょう。子ども達は、生活の中で心が動かされ、問題を見つけ、こうしたいという願いを持ちます。「総合的な学習の時間」の学習は、そこから始まります。解決する過程で子ども達は、自分達の生活の場（地域・学校・家庭）などに働きかけ、願いを実現していくのです。

こんな学習が展開されています。わら草履作りの達成感を味わった子ども達は、残っているわらを見て、何かに役立てたいという願いを持ちました。願いの実現に向けて、調べたり、教え合ったりして、生活に役立つ物を作りあげました。年末には、お正月のお飾りを作った子どももいます。そして、わらの魅力をさらに発見することができると、「わらの活用法を教えたい。」という新たな願いを子ども達は持つようになりました。「どうすれば、みんなに教えることができるのか。」と考え、ある時「校内に紹介コーナーを作ってもいいですか？」と、私のところに相談に来たこともありました。コーナー作りを実現させるために「一番適している場所を探す、了解を得るために人に働きかける。」という解決方法を見つけ取り組んだのです。今、校内には、コーナーが作られ手作りのお飾りも含めたわら細工が紹介されています。さらには、4年生に向けて、直接発信するという構想も持っているということです。

昨年、朝会のお話をきっかけとして、取材活動を行い、まちのゴミ拾いに取り組み、看板やポスターづくりによる発信を行った子ども達がありました。その活動を知っていた子ども達は今、「去年の6年生の思いを受け継ぎたい。同時に、そういうすばらしい方がいるこのまちの魅力を広めたい。」と願うようになりました。この願いを実現させるために、子ども達は解決方法を話し合い、まちの様々なところに取材に行ったり、発信方法について地域の方に相談に行ったりしています。思いの実現に向けて働きかけ生活を変えていくこうした子ども達の姿は、まさに学校教育目標『知』自ら問題意識を持ち、それを主体的に追究していける子』の姿だといえるでしょう。